



賑わう会場（オートサービスショー事務局提供）

第38回オートサービスショー2025

次世代を見据えた最新機器を展示

4万人超の来場で賑わう

国内最大級の自動車整備・検査機器の実演展示会である「第38回オートサービスショー2025」(主催：日本自動車機械工具協会)が、19、20、21日の3日間、東京ビッグサイトで開催された。今回の統一テーマは「次世代モビリティと共に歩む整備機器」。EVや、先進運転支援システム等への対応、OBD車検や酷暑対策用品など多くの最新機器を展示した。出展社・団体は112社、3日間の来場者は4万341名で前回を約5千名上回った。ここではタイヤ関連企業の出展の模様を紹介する。

小野谷機工

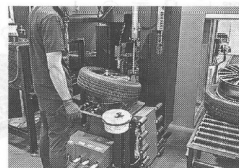
「Making future work style Easy」

「これからの働き方をもっと簡単に」をテーマに、軽労化をさらに追求し、女性やシニアでも扱える自動化商品、コンソフトモデル、新商品など多数出展した。

来場者の注目を集めていたのが自動組み込



み専用の乗用車用タイヤチェンジャー「アイジーマウンターE M19230」。組み込み作業が足元のペダルを踏むだけで簡単に行



え、タイヤ載せ降ろしも完全サポートする。

タイヤチェンジャー

では6月、発売開始し

たばかりのTB用フロ

ススーパーPSP

235 spec2、フロ

ロシードPSD455

spec2」を出展、

レールの形状を円柱状

に変更したことで剛性

が向上しメンテナンス

が簡単になり、新開発

のMDSバーで作業性

が向上した。

充電式トルクセッター

ー吊り機「エアレス型

レックカー」は動力不

要で取り回し性抜群。

屋外展示場ではタイヤ

サービスカーをTB、

PC用に2台出展。動



力源を発電機からバッテリー搭載に変更し、TB用では自動タイヤチェンジャーを搭載。PC用はファイアツトを使用し、普通免許で運転できるサービスカーを目指した。